

「長野林友」に掲載されたフロラ関係文献目録

長野林友は、長野営林局発行の機関誌で、造山、造林、育苗、病虫害、論説、調査研究、連絡等の記事がある。自然科学関係では、動物、植物、地質、気象等の報文も数多く掲載されている。創刊は1948（昭和23）年で「局報」と名づけられ、24号まで出版された。1955（昭和30）年9月より、「長野林友」と改題され、1980（昭和55）年№1で通刊184号である。年刊6冊を発刊した年もあるが、昨年は2冊であった。

本稿では、おもにフロラ、植生関係等の記事を拾い上げた。記録項目は、発行年・著者名・テーマ・号数・頁の順である。△印は著者不詳の記事である。

1950（昭和25）年

下野 園：湯舟沢経営区の土壌形態について、№3, 52～61

△：森林帯 №3, 109

1951（昭和26）年

林 弥栄：長野営林局管内に自生する針葉樹の天然分布について №7, 2～21

1952（昭和27）年

中村賢太郎：木曽のヒノキ林 №13, 8～11

林 信一：木曽における強酸性土壌とその指標植物 №13, 52～56

1953（昭和28）年

島 宏：白馬山頂（カール地形） №16口絵

佐藤 久・島 宏：白馬岳附近の水蝕地形（概報） №16, 7～23

中野浜二郎：佐渡山国有林におけるクマスギ天然林の概況と若干の考察 №16, 24, 33

1954（昭和29）年

館脇 操：ケシヨウヤナギ林を探る №18, 4～26

———：木曽路 №19, 2～19

横内 斎：木曽谷に於ける暖帯系植物の分布 №20 2～10

———：伊那谷の暖帯系植物 №21, 31～41

1955（昭和30）年

———：北信濃の日本海地域系植物 №22, 12～16

———：長野県に於ける帰化植物 №23, 2～21

南湖正和：木曽谷の土壌型と指標植物について №23, 22～27

横内 斎：八ヶ岳火山帯の植物 №24, 4～19

———：蓼科山の植物 №11, 1～10

———：戸隠山の植物 №12, 8～15

1956（昭和31）年

———：信州に如何にして植物は分布したか №1, 72～78

———：妙高火山の植物（一） №3, 66～74

———：———（二） №4, 88～97

———：岩菅山の植物（一） №5, 81～85

———：———（二） №6, 70～73

———：苗場山植物採集紀行 №7, 92～98

———：上高地の植物 №8, 88～93

———：上高地植物目録 №9, 86～91

———：美ヶ原の植物 №10, 76～81

———：美ヶ原高原の植物(2) №11, 81～88

横内 斎：三浦国有林の植物 №12, 49～57

1957（昭和32）年

———：信州名木稀草集（一） №1, 92～98

ハナノキ、シダレグリ、オサバグサ、マルバノキ、ケシヨウヤナギ、ミヤマウスユキソウ、ユキツバキ
———：———（二） №3, 86～93

トゲナシサルトリイバラ、シダレエノキ、ミサヤマチャヒキ、レンゲシヨウマ、タデスミレ、シロバナタチツボスミレ、ヤマザクラスミレ、チシマウスバスミレ、シナノスミレ、オニシオガマ、ヤツガタケトウヒ、キクザキヤマブキ、ウスギタンポポ

斎藤章一郎：八ヶ岳国有林に自生する珍稀樹種について №5, 70～78 アオシラベ、アカミカラマツ、ヒメマツハダ、ヤツガタケトウヒ、ヒメバラモミ、バラモミ、その他

横内 斎：日本南アルプス植物採集縦横記（一） №5, 86～97 野呂川～白峯三山～塩見岳（一）

———：———（二） №6, 50～59 同上（二）

———：———（三） №10, 69～77 豊口山～赤石岳～光岳～程野(1)

———：———（四） №11, 82～92 同上(2)

1958（昭和33）年

———：———（五）

№1, 90～99 戸台～東駒ヶ岳～釜無山～入笠山

：植物を追うて（植物自然地理研究の興味） №2, 68～74

———: 日本南アルプス植物採集縦横記 (六)
No. 4, 68~73 間ノ岳~夜叉神峠~薬師岳~高嶺
———: シダレグリの分布について No. 6, 20
~23

———: 日本南アルプス植物採集縦横記 (七)
No. 8, 66~74 高遠~仙丈岳~塩見岳

———: (八)
No. 9, 106~113 塩見岳~荒川岳~赤石岳~広河
原~大河原~伊那大島

———: (九)
No. 11, 64~68 富士見~北沢峠~北岳~間ノ岳
1959 (昭和34) 年

横内 斎: 日本南アルプス植物採集縦横記 (十)
No. 1, 30~35 梨元~易老岳~光岳~仁田岳~茶臼
岳~上河内岳~あざみ平

———: (十一)
No. 3, 66~71 光岳~聖岳~大河岳~赤石岳~荒川
岳~悪沢ノ池~大河原

———: (十二)
No. 5 16~19 朝与岳~鳳凰山~地蔵岳

△ : 山は花ざかり — 白馬岳附近と高山植
物 No. 8, 1~4 ハクサンイチゲ, ツガザクラ,
コマクサ, ウルップソウ, クルマユリ, ミヤマダイ
コンソウ, イワベンケイ, ミヤマオダマキ, タカネ
ツメクサ, シナノキンバイ

1960 (昭和35) 年

横内 斎: 日本アルプスの植物 No. 10, 50~53

1961 (昭和36) 年

大道政一: 七草の話 No. 1, 35~37

富樫兼次郎: 「いたちはぎ」 No. 1, 77

横内 斎: 信濃におけるクリ属の分布 No. 3, 12
~16

林 弥栄: ヤチダモとシオジの天然分布 No. 10,
22~31

横内 斎・上条行雄: 釜無山の植物 No. 12, 33~
51

1962 (昭和37) 年

福島道夫: みずばしょう (カラー写真, 志賀高原
丸池附近で) No. 4, 1~2

横内 斎: 中房温泉付近の植物 No. 4, 69~73

———: 信濃におけるヒメスミレサイシン, レ
ンゲショウマ, アサギリソウの分布 No. 5, 39~41

———: 志賀高原の自然 No. 10, 38~43

———: 信濃におけるハナノキの分布 No. 11,
12 22~24

1963 (昭和38) 年

———: 武石峠のハイマツについて No. 1, 34
~35

———: 戸隠山とその高原の植物 No. 4, 12~
20

ちむらはやお: 「郷土の花」 No. 4, 2~5

杉本順一: 長野県植物総目録(1) No. 4, 34~41
はしがき, ヒカゲノカズラ科, イワヒバ科, ミズニ
ラ科, トクサ科, ハナワラビ科, ハナヤスリ科, ゼ
ンマイ科, ウラジロ科, キジノオシダ科, コケシノ
ブ科, イノモトソウ科。

横内 斎: 小谷温泉附近の植物 No. 5, 60~66

杉本順一: 長野県植物総目録(2) No. 5, 84~93
イノモトソウ科(続), シノブ科, シンガシラ科, オ
シダ科, チャセンシダ科。

ちむらはやお: 四阿山, 根子岳紀行 No. 5, 102
~109

石神甲子郎: 南アルプス塩見岳, 荒川岳, 赤石岳
附近の計画班調査報告書 No. 6, 末尾2~23

杉本順一: 長野県植物総目録(3) No. 6, 12~21
シンラン科, ウラボシ科, ヒメウラボシ科, デンジ
ソウ科, サンショウモ科, アカウキクサ科, イチイ
科, イヌガヤ科, マツ科, コウヤマキ科, スギ科,
ヒノキ科, ヒャクシン科, ドクダミ科, センリョウ
科, ヤナギ科

———: (4) No. 7, 29~38
ヤナギ科(続), クルミ科, カバノキ科, ブナ科, ニ
レ科, アサ科, クワ科, イラクサ科, ヒャクダン科,
ヤドリギ科, ツチトリモチ科, ウマノスズクサ科

浅田節夫, 赤井龍男: 亜高山帯の森林の取扱いに
ついて — 特にシラベの林分生産力と天然更新 —
No. 7, 末尾2~49

栗田 勲: 南アルプス山系の森林植物生態学的調
査 No. 7, 末尾50~73

横内 斎・飯沼冬彦・横内文人: 賤母学術参考保
護林の植物と生態 No. 7, 末尾81~137 フロラ(横
内斎), 蘚苔類(飯沼冬彦), 植生(横内文人)

杉本順一: 長野県植物総目録(5) No. 8, 46~55
ウマノスズクサ科(続), タデ科, アカザ科, ヒユ科,
ヤマゴボウ科, ツルナ科, スベリヒユ科, ナデシコ
科

宮脇 昭・大場達之: 南アルプス植生調査報告
— 塩見, 鳥帽子, 小河内, 荒川, 赤石, 大沢岳に
ついて — No. 8, 末尾2~13 (付単色植生図)

杉本順一: 長野県植物総目録(6) No. 9, 62~71
ナデシコ科(続), スイレン科, ヤマグルマ科, カツ
ラ科, フサザクラ科, マツモ科, キンボウゲ科

—————:—————(7) №10, 54~58
キンボウゲ科(続), アケビ科, メギ科, ツズラフジ
科, モクレン科, クスノキ科, ケシ科, エンゴサク
科

—————:—————(8) №11, 43~47
エンゴサク科(続), フウチョウソウ科, アブラナ科

—————:—————(9) №12, 21~25
アブラナ科(続), モウセンゴケ科, ベンケイソウ科,
ウメバチソウ科, ユキノシタ科

1964 (昭和39) 年

—————:—————(10) №2, 31~35
ユキノシタ科(続), マンサク科, シモツケ科

—————:—————(11) №3, 25~29
シモツケ科(続), バラ科

横内 斎: 中信に於て分布上注意すべき植物(1)
№4, 17~21 ヤシャゼンマイ, セッコク, ヒナノ
キンチャク, ヤマアサクラサンショウ, キツタ, サ
イコクミツバツツジ, ケイワタバコ, ケイタドリ,
ヒメアオキ, タヌキラン, ハイイヌガヤ, ケトチノ
キ, オオタチツボスミレ

杉本順一: 長野県植物総目録(12) №5, 51~55
バラ科(続), サクラ科

横内 斎・横内文人: 聖山の植物 №6, 20~32
—————: 中信地方に於て分布上注意すべき植物

(2) №7, 21~27 クロバナヒキオコシ, レンゲシ
ョウマ, ミサヤマチャヒキ, キリガミネアサヒラン,
ヒメスミレサイシン, タニウツギ, コウシンヤマハ
ッカ, ジャガ, シダレグリ, クサグリ, キタヨシ,
ミドリキタヨシ, ヒカゲツツジ, シロバナエゾタン
ポポ, セリバシオガマ, オサバグサ, オクジョウジ
ザクラ, テンニンソウ, タデスミレ, マルバクワガ
タ, シャジクソウ

杉本順一: 長野県植物総目録(13) №7, 40~49
サクラ科(続), ナシ科, マメ科

—————:—————(14) №8, 26~35
マメ科(続), フウロソウ科, アマ科, カタバミ科,
ミカン科, ニガキ科, センダン科, ヒメハギ科, ト
ウダイグサ科, アワゴケ科, ツゲ科, ドクウツギ科,
ガンコウラン科, ウルシ科, モチノキ科, ニシキギ
科

栗田 勲・片岡寛純: 龍川谷国有林の森林植物生
態学的調査 №8, 末尾2~22

横内 斎: 中信地方に於て分布上注意すべき植物
(3) №9, 1~6 チシマザクラ, チチブシロカネ
ソウ, ヒメモチ, オオツルツゲ, ケシヨウヤナギ,
ミヤマトサミズキ, フジアザミ, ヤブデマリ, サル

トリイバラ, ハシドイ, ハナノキ, シロモジ, マメ
ザクラ

杉本順一: 長野県植物総目録(15) №9, 27~36
ニシキギ科(続), ミツバウツギ科, カエデ科, トチ
ノキ科, ムクロジ科, アワブキ科, ツリフネソウ科,
クロウメモドキ科, ブドウ科, シナノキ科, アオイ
科, マタタビ科, ツバキ科, オトギリソウ科

伊藤秀三・手塚映男・宮脇 昭: 針ノ木岳周辺地
域の植生 №9, 末尾2~29

横内 斎: 中信地方に於て分布上注意すべき植物
(4) №10, 15~19 クジラグサ, テリハノイバラ,
シナノナデシコ, ユキヤナギ, オオキラソウ, ヘ
ビノシタ, ヒガンバナ, トゲナシニセアカシア, カ
ワリバフジ, トゲナシノイバラ, ベニヤマボウシ,
シダレウワミズザクラ, コウテンシダレ, オウトウ
シンソウ, ナカブサハタルブクロ

杉本順一: 長野県植物総目録(16) №10, 26~35
オトギリソウ科(続), ミソハコベ科, スミレ科, キ
ブシ科

—————:—————(17) №11, 20~29
デンチョウゲ科, グミ科, ミソハギ科, ウリノキ科,
アカバナ科, ヒシ科, アリノトウグサ科, スギナモ
科, ウコギ科, セリ科

横内 斎: — 天皇・皇后両陛下御散策地 — 八
幡大池周辺の植物 №12, 18~27

杉本順一: 長野県植物総目録(18) №12, 31~40
セリ科(続), ミズキ科, リョウブ科, イワウメ科,
イチヤクソウ科, ツツジ科

1965 (昭和40) 年

—————:—————(19) №1, 28~37
ツツジ科(続), ヤブコウジ科, サクラソウ科, カキ科,
ハイノキ科, エゴノキ科, モクセイ科, フジウツギ
科, リンドウ科

—————:—————(20) №2, 66~81
リンドウ科(続), キョウチクトウ科, ガガイモ科,
ヒルガオ科, ハナシノブ科, ムラサキ科, クマツヅ
ラ科, ナス科, シソ科, ゴマノハグサ科

横内 斎・横内文人: 聖山西側の植物 №2, 8
~20

—————: 武石峰のハイマツ調査 №3, 末尾19
~28

杉本順一: 長野県植物総目録(21) №3, 38~57
ゴマノハグサ科(続), ノウゼンカズラ科, ハマウツ
ボ科, イワタバコ科, タヌキモ科, キツネノマゴ科,
ハエドクソウ科, オオバコ科, アカネ科, スイカズ
ラ科, オミナエシ科, レンブクソウ科, マツムシソ

ウ科, ウリ科, キキョウ科, キク科

—————:—————(22) №4, 45~59

キク科(続),

大原準之助: 長野県下における興味ある植物の新産地 №4, 30~37

横内 斎: 高瀬入国有林のヒメコマツ林の調査について №4, 末尾2~22

—————: 小菅山ヒメコマツ大材林について №5, 末尾2~13

杉本順一: 長野県植物総目録(23) №5, 20~39
キク科(続), ガマ科, ミクリ科, ヒルムシロ科, イバラモ科, オモダカ科, トチカガミ科, シバナ科, タケ類, イネ科

—————:—————(24) №6, 18~37
イネ科(続), カヤツリグサ科(続), ウキクサ科, サトイモ科

1966 (昭和41) 年

—————:—————(25) №1, 18~37
サトイモ科(続), ヤシ科, ホシクサ科, ツユクサ科, ミズアオイ科, イグサ科, ユリ科, ビャクブ科, ヤマノイモ科, ヒガンバナ科, アヤメ科, ショウガ科, ラン科

—————:—————(26) 補遺, №2, 18~46
ラン科(続), あとがき, 補遺 (20 p.p.)

横内 斎・横内文人・飯沼冬彦: ヤツガタケトウヒ林の研究 №2, 末尾2~31, フロラ (横内斎), 植生 (横内文人), 蘚苔類 (飯沼冬彦)

横内 斎・横内文人: 聖山植物誌(1) №6, 末尾30~63

1967 (昭和42) 年,

—————:—————(2) №1, 末尾2~47

—————: 白馬岳に高山植物をたずねて №4, 1~5

1968 (昭和43) 年

—————: 横内文人: 小川入国有林ヒノキ大材林について №1, 末尾1~19 フロラ (横内斎), 植生 (横内文人)

1969 (昭和44) 年

—————: 飯沼冬彦・横内文人: 鬼無里ブナ自然林の研究(1) №2, 末尾18~30 フロラ (横内斎)

—————:—————:—————(2) №3, 末尾1~15
蘚苔類植生 (飯沼冬彦), 植生 (横内文人)

浜 武人: 中毒をおこすキノコについて №4, 48~58

1970 (昭和45) 年

横内 斎: 大洞川湿原の植物 №6, 末尾23~31

—————: 西段国有林の植物 №6, 末尾32~39

1971 (昭和46) 年

—————: 荒船山付近の植物 №3, 末尾12~21

1972 (昭和47) 年

—————: 野辺山高原の植物 №4, 末尾1~10

1973 (昭和48) 年

駒ヶ根営林署: 木曾駒ヶ岳 (中央アルプス) 千畳敷周辺の高山植物 №1, 17~23

沢井忠雄: 縞枯成因に関する研究史 №4, 末尾1~16

横内 斎: 雨飾山~天狗原山の植物 №5, 末尾1~11

1974 (昭和49) 年

千村速男: 高山植物 (alpine plants) (1) №2, 44~51

—————:—————(2) №4, 32~37

1975 (昭和50) 年

—————:—————(3) №1, 68~73

—————:—————(4) №2, 46~52

—————:—————(5) №3, 21~28

—————:—————(6) №4, 41~49

横内 斎・池内登志男: 浅間連峰の植物 №4, 末尾1~17

原田文夫: 木曾ヒノキ林(1) その生いたち(上) №4, 24~30

1976 (昭和51) 年

—————:—————(2)—————(下)
№1, 42~50

千村速男: 高山植物 (alpine plants) (7) №1, 68~73

—————:—————(8) №2, 68~73

原田文夫: 木曾ヒノキ林(3) 木曾谷の環境条件・地形・地質 №2, 45~54

—————:—————(4)—————
—————:—————№3, 57~66

岳 飄: カヤノ平の北ドブ湿原 №3, 67

千村速男: 高山植物 (alpine plants) (9) №3, 68~73

—————(10) No. 4,
61~65

1977 (昭和52) 年

—————(11) No. 1,
63~67

原田文夫: 木曽ヒノキ林(5) 木曽ヒノキ林を巡る
木曽史へのアプローチ No. 1, 49~55

千村速男: 高山植物 (alpine plants) (12) No. 2,
52~55

横内 斎: 白馬連山の植物目録とその地史的分布
(1) No. 3, 37~44

斎藤章一郎: 王滝における木曽ヒノキの成因を求
めて(1) No. 3, 52~58

千村速男: 高山植物 (alpine plants) (3) No. 4,
40~45

横内 斎: 白馬連山の植物目録とその地史的分布
(2) No. 4, 58~63

1978 (昭和53) 年

斎藤章一郎: 王滝における木曽ヒノキの成因を求
めて(2) No. 1, 56~61

原田文夫: 木曽ヒノキ林(6) No. 2, 13~22

斎藤章一郎: 王滝における木曽ヒノキの成因を求
めて(完) No. 2, 50~56

△ : 木曽五木 (写真) ヒノキ, サワラ,
ネズコ, ヒバ, コウヤマキ No. 2, 口絵, 49(説明)

1979 (昭和54) 年

原田文夫: 木曽ヒノキ林(7) No. 1, 33~40

—————(8) 木曽ヒノキ林と木曽
の人々とのかかわり No. 2, 46~50

岳 飄: オウレン (黄蓮) の仲間 No. 2, 36

千村速男: 松虫草の花 (口絵写真)

1980 (昭和55) 年

原田文夫: 木曽ヒノキ林(9) 木曽ヒノキ林と木曽
の人々とのかかわり No. 1, 62~67

この目録の作成に当っては、横内斎所蔵の長野営
林局報と長野林友より抜粋しました。なお不足分17
冊については、長野営林局の千村速男氏の御協力を
いただきました。厚く御礼申し上げます。

(横内 斎・横内文人)

[長野県植物誌 資料IV]

「信濃教育」に掲載されたフロラ関係文献目録(2)

会誌12号に続いて、1946 (昭21) 年1月発行の、
709号から、1980 (昭55) 年1月発行の1118号まで
に掲載されたフロラ関係の報文をリストアップする。

1947 (昭和22) 年

細野淳: 北安曇郡下に於ける食用となる動植物の
調査 (一) No. 725, 34~38

1947 (昭和22) 年

細野淳: 北安曇郡下に於ける食用となる動植物の
調査 (二) No. 727, 35~39

1947 (昭和22) 年

岡西良治: 霧ヶ峰八島ヶ原における池水と接合植
物 No. 731, 5~12

1948 (昭和23) 年

横内斎: 信濃産帰化植物 No. 737, 24~35

西牧荘十郎: 植物採集随想 No. 737, 35~37

1949 (昭和24) 年

横内斎: 乗鞍岳高山帯の植物 No. 749, 31~36

1950 (昭和25) 年

白倉盛男: 信濃における「かはのり」の新産地
No. 766, 58~61

1951 (昭和26) 年

奥原弘人: 賤母国有林の植物 No. 771, 25~29

1953 (昭和28) 年

五味新平: 霧ヶ峰高層湿原について No. 804,
43~48

1955 (昭和30) 年

佐藤邦雄: ヤドリギ No. 820, 61~64

1956 (昭和31) 年

草間博: 佐久の帰化植物 No. 833, 39~45

西牧荘十郎: 斑尾山の植物調査から No. 804, 64~67

山崎林治: 信濃博物会 No. 841, 92~95

1957 (昭和32) 年

宮下忠義: 伊那谷の生物ごよみ No. 845, 59~66

1958 (昭和34) 年

下原恒男: 志賀山を中心とする植物群落 No. 878,
79~89

1961 (昭和37) 年

浅野一男: 三信国境地帯のコセリバオウレンの分
布について No. 906, 80~83

1963 (昭和39) 年

松田行雄: 長野県におけるミズゴケ類の分布 No.
929, 59~64